

注文票

FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
氏名:	〒	電話:
四六判 228頁		
予価: 本体 1800円+税		
2004年7月1日発売		
注文数 部		
日本僑報社刊行日中関係の本 『中国人特派員が書いた日本』 『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』 『日中相互理解とメディアの役割』 『日中ホンを大討論!』 『中国人の見た日本』 『中国人の日本語者書総覧』 『日本華僑華人社会の変遷』 『華僑社会の変貌とその将来』 『中国人の日本奮闘記』 『中国の1万2967人に聞きました。』 『私が出会った日本兵』 『つくる会の歴史教科書を斬る』 『新中国に貢献した日本人たち』 ほか多数		



無言の愛

中国——数々の波乱を乗り越えた聴覚障害児と家族の軌跡

高 纓原著 王 敏監修 田中須磨子訳 日本僑報社 | ISBN 4-931490-88-3

著者略歴 高纓: 1929生まれ。詩人・作家。中国作家協会理事、作家協会四川省支部副会長。主な著作は、詩集『大涼山の歌』『丁佑君』、小説『雲の流れるはて』『達吉と父親』、『蘭』、散文集『西昌の月』『竹楼の恩』、自伝エッセイ『母の心』など多数。邦訳書に『孔雀の舞』『薛瑪姑娘』がある。

監修者略歴 王敏: 法政大学国際日本学センター教授(専攻=日中比較研究・日本研究・宮沢賢治研究)、政策研究大学院大学客員教授、上海・同济大学客員教授、日本ペンクラブ国際委員。人文科学博士(お茶の水女子大) 1954年、中国・河北省承德市生まれ。大連外国語学院大学日本語学部卒、四川外国語学院大学院修了。文化大革命後、大学教員から選出の国費留学生として宮城教育大学で学ぶ。[主な受賞] 90年中国優秀翻訳賞、92年「山崎賞」、97年「岩手日報文学賞賢治賞」。[主な著書]「宮沢賢治・中国に翔ける思い」(岩波書店)「謝! 宮沢賢治」(河出書房新社)「宮沢賢治と中国」(サンマーク出版)「『押し』の中国『引き』の日本」(インターワーク出版)「花が語る中国の心」(中公新書)「中国シンボル・イメージ図典」(東京堂出版)「中国人の『超』歴史発想」(東洋経済新報社)「なぜ噛み合わないのか-日中相互認識の誤作動」(日本僑報社)ほか。NHK番組「視点・論点」、テレビ朝日「徹子の部屋」などテレビ出演多数。

訳者略歴 田中須磨子: 1933年生まれ。小学校3年から6年までの4年間を、中国天津で過ごし、1945年、終戦で引き揚げる。文部省図書館職員養成所を卒業後10年間、司書として大学図書館に勤務。以後家庭に入る。日中国交回復以後中国語を勉強、中国の文化や歴史に興味を持つ。王敏氏の紹介で高纓氏の著作を知り、成都に旅行して高纓氏と会う。以後彼の小説『ゴビ砂漠』『貝』『薛瑪姑娘』などを翻訳。



——本文より——
 二人の聾啞の子供を保護し教育しました。やがて、粘り強い意志と理智の態度と愛の精神で、あらゆる人の善意に頼り、二人の聾啞の子供を保護し教育しました。やがて、二人は世の中の人にとって有益な芸術に必要な人間に成長しました。

【内容紹介】
 私と妻は世界で最大の苦痛を味わった親といえるでしょう。それは上の娘と次の息子が、続いて薬害による聾啞者になったからです。同時に私たち夫婦は、この世で最高にしあわせな親ともいえましよう。それは私たちが艱難辛苦をなめ尽くし、学校の先生や親戚、友人を頼るなど知恵を絞って努力した結果、二人の聾啞の子供があい前後して卓越した画家になったことによるものです。
 私たち夫婦と疾病の残る二人の子供達は、逆境の中、特に『文革』の災害の中で深い苦難を経験しました。一家は離散し、困難な目に遭い、堪え難い境遇に落とされました。その時、私たちは世をはかなみました。親戚や友人たちも私たちの心痛を心配してくれました。けれど私たちはとうとう凶悪な運命に耐え切りました。どん底から必死になって立ち上がり、粘り強い意志と理智の態度と愛の精神で、あらゆる人の善意に頼り、二人の聾啞の子供を保護し教育しました。やがて、二人は世の中の人にとって有益な芸術に必要な人間に成長しました。